

< 報道関係資料 >

[新刊] 「恋歌」 恋歌編集部・編 (新風舎・刊)

万葉の時代から日本人には
世界平和に通じる男女の恋がある。
今こそ恋心よ蘇れ!

メールマガジン「恋歌」を発行している恋歌編集部はこの度、メールマガジンに掲載された詩やエッセイを再編集して1冊の本にまとめ、「恋歌」と題して新風舎より出版する。

内容は、「一 春の相聞・夏の相聞」「二 女として生きる」「三 万葉の恋歌を訪ねて」の三部より成り、一部と二部は現代に生きる女性たちがその胸に秘めた想いを新鮮で繊細、そして大胆な感覚でつづった詩60編を収め、三部は『万葉集』の恋歌に日本人の恋のあり方を探るエッセイ。

メールマガジン「恋歌」

本書のもととなったメールマガジン「恋歌」は、仕事をし、子育てをしながらのシングルマザーから、30代前半の独身女性など5人が、日本人の心の底に眠る恋力を取り戻そうと、始めたもの。仕事から帰って深夜、メールマガジンリストで

会話しながら詩作り、編集し、メールマガジンを発行してきた。最小の単位である男と女の間が、一組でも心通理解しあえたら、きっと世界の国や民族の間に波及するのではないかという気持ちからである。

男女の恋が世界平和を実現する

歌人の一人である天の羽衣は、「自分たちの体験を歌で表現した時に、それぞれの歌を読むと体の中が動いていって、みんなの体験が伝わってきて自然に涙があふれてきたんです。お互いが表現する事でまた変わって、成長しているのがいとおしいほど感じられる。ほんとに恋っていいなって……。」と語る。

ITの発達した現代は、ごく普通の個人が世界に向けて発信して行ける時代。一人一人の胸の内にあることは単に個人のことにと留まらず、発信することで共感の輪が広がり、社会を動かしていく力となる。『万葉集』で恋心表現しあった男女は同時に時代を創っていた人たちであったと本書には触れてある。作品に表現されたものに留まらず、こうした作品を生みだしていく女性たちの生き方の中に新しい社会、男女のあり方を予感させる一冊である。



【商品概要】

タイトル：恋歌	発行：新風舎	B6判・275ページ
著者：恋歌編集部	定価：1,800円（税別）	ISBN 4-7974-2794-9 C0095

商品に関してのお問い合わせ先：

新風舎 〒107-0062 東京都港区南青山2-22-17 TEL 03-5775-5040

報道関係のお問い合わせ先：

恋歌編集部・上枝ますみ TEL 090-3916-4765 ma-su-mi@myad.jp

「恋歌」ホームページ：<http://www.koiuta.jp> info@koiuta.jp

< 参考資料 >

『恋歌』まえがきから

いにしへの時代より日本人は、歌によって想いを表してきました。
連綿と連なる恋歌の中に、人は自らの生命の滾りを託しました。
他のどんな民族よりも、人を好きになり愛することが生きる中心であり、
その溢れるエネルギーで国を造ってきたのです。
一組の男と女...その営みから生まれた恋の国、日本。

日本人の魂、恋心よ、よみがえれ！

そんな気持ちに共感する仲間たちで配信してきた
メールマガジン「恋歌」を今、
一冊の本としてお届け出来ることになりました。

メールマガジンへの読者の反響

いつも洗練された素晴らしい言葉の数々、ため息が出るような表現にただただ頭が下がります。なんという、妖艶で色気に満ちた、人の心を震えさすほどの、えぐるような言の葉でしょうか？本当に一つ一つ、心が揺さぶられるようです。 (51歳女性)

日本人の心の源流を感じます。切なくなり、心が締め付けられ、また踊り、喜びに震えそうな、そんな思いが伝わってきます。 (女性F.Y.さん)

女の人ってこんなこと感じたり考えたりしてるんだ、と驚きました。普通に話しててもわからない女心がわかるので、これはもう、全男性必読と思います。 (30代男性)

『恋歌』目次内容

- 一 春の相聞・夏の相聞 (詩全32編)
浅き春・春情・満開の桜・春のなごり・風・雨・夏の風景・晩夏
- 二 女として生きる (詩全28編)
プロローグ・女として生きる・女たち・悦び・男と女の物語・通い合う魂
- 三 万葉の恋歌を訪ねて (エッセイ)
 - 第一回 今も昔も.....
 - 第二回 不倫だなんて.....
 - 第三回 奥さんには勝てません
 - 第四回 天皇のラブソング
 - 第五回 悲しみの磐姫
 - 第六回 明るく健康的な東歌
 - 第七回 恋のはじめ方
 - 第八回 男と女のハーモニー
 - 第九回 振られても振られても～片思い
 - 第十回 天の火もがも～禁断の恋(1)
 - 第十一回 兄と妹～禁断の恋(2)
 - 第十二回 人への愛、国への愛